

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: リセッシュ除菌EX 香りが残らないタイプ 業務用

製造業者/輸入業者/販売業者情報

国内製造事業者等の情報

会社名: 花王株式会社
住所: (〒131-8501) 東京都墨田区文花 2-1-3
電話番号: 03-5630-7141
FAX番号: 03-5630-7130
担当部門:
電子メールアドレス: ipv@kao.co.jp

推奨用途: 業務用

使用上の制限: 2、4、7、8、10、13章を参照のこと。

緊急連絡電話番号: 03-5630-7141

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

環境有害性

水生環境有害性 短期 (急性) 区分 1
水生環境有害性 長期 (慢性) 区分 3

ラベル要素

絵表示:



注意喚起語:

警告

危険有害性情報:

水生生物に非常に強い毒性。
長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き

安全対策:

環境への放出を避けること。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/
保護面を着用すること。

応急措置:	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。漏出物を回収すること。
保管:	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
廃棄:	産業廃棄物処理業者に委託する。水質汚濁防止法などの関連法規に適合するよう廃棄する。
GHS 分類に該当しない他の危険有害性:	なし。

3. 組成及び成分情報

混合物

化学名又は一般名	CAS番号	ISHL	ENCS	含有率のパーセント (%)
両性界面活性剤	企業秘密	YES	YES	
緑茶エキス	企業秘密			
除菌剤	企業秘密	YES	YES	
香料	企業秘密			
エタノール	64-17-5	YES	YES	

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合:	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合:	直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
眼に入った場合:	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合:	気分が悪い時は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。
応急措置をする者の保護:	データなし

最も重要な、急性及び遅発性の徴候及び作用

症状:	データなし
危険:	データなし

直ちに必要な医療および特別な処置

処置: 症状が起きたら医師に連絡する。

5. 火災時の措置

適切な（および不適切な）消火剤

適切な消火剤: 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水

使ってはならない消火剤: データなし

物質または混合物に起因する特有の危険有害性: データなし

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

特有の消火方法: 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

消防士のための特別な保護具: 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 作業には、必ず保護具（手袋・眼鏡）を着用する。多量の場合、人を安全に待避させる。必要に応じた換気を確保する。

封じ込めと洗浄の方法および材料: 少量の場合、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

環境に対する注意事項: 環境への放出を避けること。

二次災害の防止策: 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策: 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄ができる設備を設置する。

局所排気, 全体換気:	適切な排気換気装置を使用する。
安全取扱注意事項:	火気厳禁。適切な排気換気装置を使用する。取扱い後はよく洗うこと。適切な保護具を着用すること。
接触回避:	データなし
保管	
安全な保管条件:	火気厳禁。容器を密閉しておくこと。換気の良い場所で保管すること。
安全な容器包装材料:	データなし

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

暴露限界値 製品:	知見なし。
--------------	-------

個人用保護措置

眼/顔面の保護具:	状況に応じ着用
手の保護具:	素材: 状況に応じ着用
皮膚及び身体の保護具:	状況に応じ着用
呼吸用保護具:	状況に応じ着用
衛生対策:	データなし

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理状態:	液体
形状:	微濁液体
色:	無色
臭い:	特有の香気を有する
臭いの閾値:	データなし
凝固点:	-15 - -5 ° C/5 - 23 ° F

沸点:	> 40 ° C/104 ° F
可燃性:	燃焼は持続しない
燃焼又は爆発限界の上限/下限	
爆発限界—上限:	データなし
爆発限界—下限:	データなし
引火点:	54.5 ° C/130.1 ° F 方法: タグ密閉式測定器
自然発火点:	> 100 ° C/212 ° F
分解温度:	データなし
pH:	7.6 25 °C、原液
粘度 (粘性率)	
粘性率:	4.0 mPa.s at 10 ° C/50 ° F 3.4 mPa.s at 20 ° C/68 ° F 3.0 mPa.s at 30 ° C/86 ° F
動粘性率:	データなし
浮遊時間:	データなし
溶解度	
溶解度 (水):	溶解 可溶(易溶)
溶解度 (その他):	エタノールに可溶、n-ヘキサンに不溶
n-オクタノール/水分配係数:	データなし
蒸気圧:	データなし
比重:	データなし
密度:	0.998 g/ml at 10 ° C/50 ° F 0.996 g/ml at 20 ° C/68 ° F 0.994 g/ml at 30 ° C/86 ° F
相対ガス密度:	データなし
粒子特性	
粒子径:	データなし
粒度分布:	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性:	データなし
化学的安定性:	通常の使用では安定。
危険有害反応可能性:	自己反応性はない。

避けるべき条件:	データなし
混触危険物質:	鉄製の容器はさける。
危険有害な分解生成物:	データなし

11. 有害性情報

急性毒性（可能性のある全ての暴露経路をリストアップする）

経口

製品: データなし
成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

成分:

除菌剤 区分 4: (88)

経皮

製品: データなし
成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

吸入した場合

製品: 粉じん及びミスト: データ不足のため分類できない。
蒸気: データなし
成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

皮膚腐食性／刺激性

製品: データなし
成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

成分:

両性界面活性剤 区分 2: (34)
除菌剤 区分 1B: (88)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

製品: データなし
成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

成分:

両性界面活性剤 区分 2A: (34)
除菌剤 区分 1: (88)
エタノール 区分 2: (88)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

製品: 皮膚: データなし
成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない。
呼吸器: データ不足のため分類できない。

発がん性

製品: データ不足のため分類できない。

IARC:

発癌性成分は確認されていません。

NTP:

発癌性成分は確認されていません。

日本産業衛生学会:

発癌性成分は確認されていません。

EU

発癌性成分は確認されていません。

生殖細胞変異原性

インビトロ (in vitro)

製品: データ不足のため分類できない。

インビボ (in vivo)

製品: データ不足のため分類できない。

生殖毒性

製品: データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

製品: データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

製品: データなし
成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

誤えん有害性

製品: データ不足のため分類できない。

その他の影響:

データなし

12. 環境影響情報

生態毒性:

水生環境有害性 短期 (急性)

魚類

製品: データなし

水生無脊椎動物

製品: データなし

水生植物毒性	
製品:	データなし
成分:	
両性界面活性剤	区分 1: (99)
除菌剤	区分 1: (88)
水生環境有害性 長期 (慢性)	
魚類	
製品:	データなし
水生無脊椎動物	
製品:	データなし
成分:	
除菌剤	区分 1: (88)
残留性・分解性	
生分解性	
製品:	データなし
BOD/COD比	
製品:	データなし
生態蓄積性	
生物濃縮係数 (BCF)	
製品:	データなし
n-オクタノール/水分配係数 (log Kow)	
製品:	データなし
土壌中の移動性:	データなし
オゾン層への有害性:	規制されない
その他の情報:	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	”取り扱い及び保管上の注意”の章を参照。産業廃棄物処理業者に委託する。水質汚濁防止法などの関連法規に適合するよう廃棄する。焼却に際しては引火性物質を含むので注意して行う。空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。
汚染容器及び包装:	データなし

14. 輸送上の注意

国際規則

IMDG

国連番号:	UN 3082
UN 正式輸送品目名:	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (Alkyl Dimethyl Benzyl Ammonium Chloride)
輸送危険有害性クラス	
クラス(Class):	9
ラベル(Label):	9
EmS No.:	F-A, S-F
容器等級:	III
少量危険物	5.00L
微量危険物	E1
環境有害性:	該当
海洋汚染物質:	該当
使用者のための特別な予防措置:	規制されない

IATA

国連番号:	UN 3082
UN 正式輸送品目名:	Environmentally hazardous substance, liquid, n.o.s. (Alkyl Dimethyl Benzyl Ammonium Chloride)
輸送危険有害性クラス:	
クラス(Class):	9
ラベル(Label):	9MI (その他)
容器等級:	III
微量危険物	E1
環境有害性:	該当
海洋汚染物質:	該当せず
使用者のための特別な予防措置:	規制されない
その他の情報	
旅客および貨物輸送機:	許可されている。 964
貨物専用航空機に限る:	許可されている。 964
UN 正式輸送品目名 (JP):	環境有害物質(液体)(Alkyl Dimethyl Benzyl Ammonium Chloride)

MARPOL73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質
供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国内規制: 国内法に従う。

応急措置指針番号: 171

15. 適用法令**労働安全衛生法****危険物**

引火性の物

特化則**第一類特定化学物質:**

規制されない

第二類特定化学物質:

規制されない

第三類特定化学物質:

規制されない

鉛中毒予防規則:

規制されない

四アルキル鉛中毒予防規則:

規制されない

通知対象物（含有量が幅記載の場合は、企業秘密であるため。）:

エタノール 1 - 10%

表示対象物:

エタノール

変異原性が認められた新規届出化学物質:

規制されない

変異原性が認められた既存化学物質:

規制されない

がん原性が認められた化学物質:

規制されない

毒物及び劇物取締法

規制されない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

規制されない

化学物質排出把握管理促進法

規制されない

消防法:

危険物、指定可燃物に該当しない。

船舶安全法・危規則:

有害性物質

航空法・施行規則:

有害性物質

火薬類取締法:

規制されない

高圧ガス保安法:

規制されない

海洋汚染防止法:

個品運送 海洋汚染物質

輸出貿易管理令:

規制されない

登録状況:

TSCA:	Not in compliance with the inventory
Canada DSL Inventory List:	Not in compliance with the inventory
Australia AICS:	Not in compliance with the inventory
Korea Existing Chemicals Inv. (KECI):	Not in compliance with the inventory
Japan (ENCS) List:	On or in compliance with the inventory
Japan ISHL Listing:	On or in compliance with the inventory
Philippines PICCS:	Not in compliance with the inventory
China Inv. Existing Chemical Substances:	On or in compliance with the inventory
REACH (EU):	Contact us for information
Taiwan Chemical Substance Inventory:	On or in compliance with the inventory

16. その他の情報

免責条項:

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上で御使用ください。当安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。貴社が、弊社当該製品をそのまま、あるいは弊社当該製品を配合し、米国へ輸出する際には、事前に弊社担当者へご連絡をお願いいたします。
香料製品の場合は、香粧品原料として通常の使用では I F R A スタンダードに適合しています。詳細については供給者に問い合わせ下さい。

版番号:

3.0

改訂日: 2023. 09. 20

発行日: 2021. 06. 10

引用文献:

- ・ GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS) (JIS Z 7253: 2019)
 - ・ 国際化学物質安全性カード (ICSC) コンパイラズガイド 日本語版国立衛生試験所化学物質情報部編、化学工業日報社、1994年
 - ・ GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針、(社)日本化学工業協会、2019
- (34): 原料の安全データシート
(82): U. S. EPA HPV Challenge Program
(88): ECHA-REACH Registered Substances Database
(96): CESIO RECOMMENDATIONS for the harmonized classification and labelling of surfactants (March 2017)
(99): 弊社による試験データ